

# 乙 頁

第158号 通巻28巻 第1号  
平成20(2008)年5月15日 発行

守山市立埋蔵文化財センター  
Tel・Fax 077-585-4397

〒524-0212  
守山市服部町2250番地

## 終了した調査から

### 寺中遺跡の調査

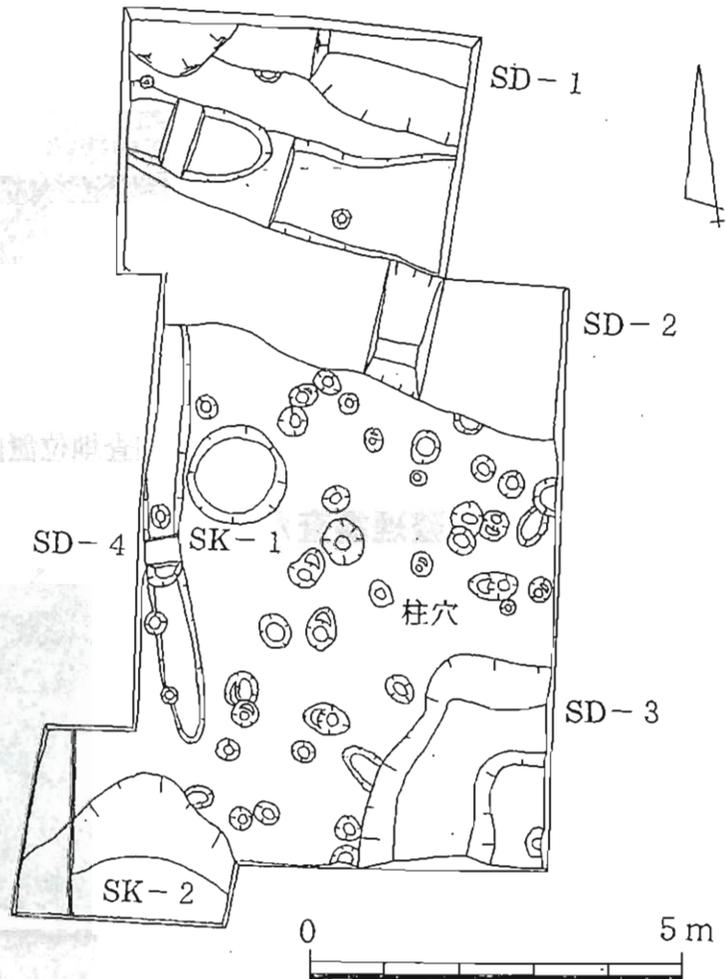
矢島町で個人住宅建築工事に伴い、発掘調査を実施しました。造成土、灰黄色土を除去し、80 cm下の黄色シルト上面で遺構検出を行なった結果、鎌倉時代後期の溝3条、弥生時代の柱穴、土坑（大きな穴）、溝等を検出しました。鎌倉時代後期の溝（SD-1、2）は東西方向に伸び、細かい砂が幾重にも堆積していたことから、当時は水が流れていたことが推測されました。SD-3は調査区南東隅でL字状に屈曲する溝で、屋敷地の周りに掘られた区画溝の可能性があり、幅約1.8m、深さ70 cmの規模です。

調査区中央では鎌倉時代後期の溝に一部壊された状態で、弥生時代の溝（SD-4）、土坑（SK-1、2）、柱穴が多数検出され、多量の弥生土

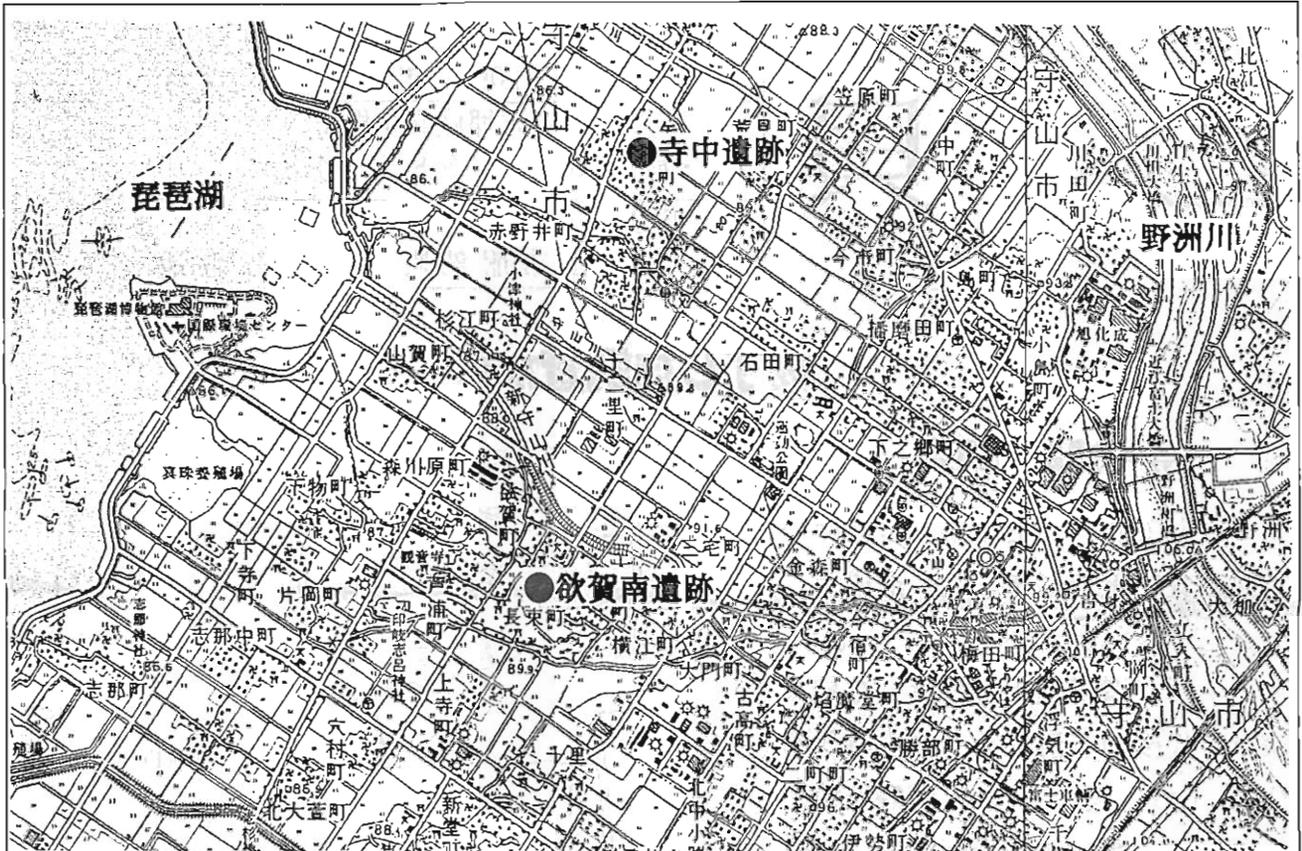
器が出土しました。柱穴の規模は直径30 cmから60 cm、深さ10 cmから40 cmと比較的小さく、柱材も華奢なものであったと推測されます。また、柱穴に重複がみられることから、何度か建物が建て替えられた可能性が考えられます。出土した弥生土器はヘラ描沈線文が施された壺や櫛描文を施す大型の広口壺、倒鐘形の体部を持つ甕など、その文様や形などから弥生時代前期から中期初頭頃の年代が考えられます。

今回の調査は弥生時代前期から中期の集落遺跡として知られる寺中遺跡の内容を知る上で貴重な資料であり、今後の遺物整理作業を慎重に進めていきたいと思ひます。

（伴野）



▲寺中遺跡遺構全体図



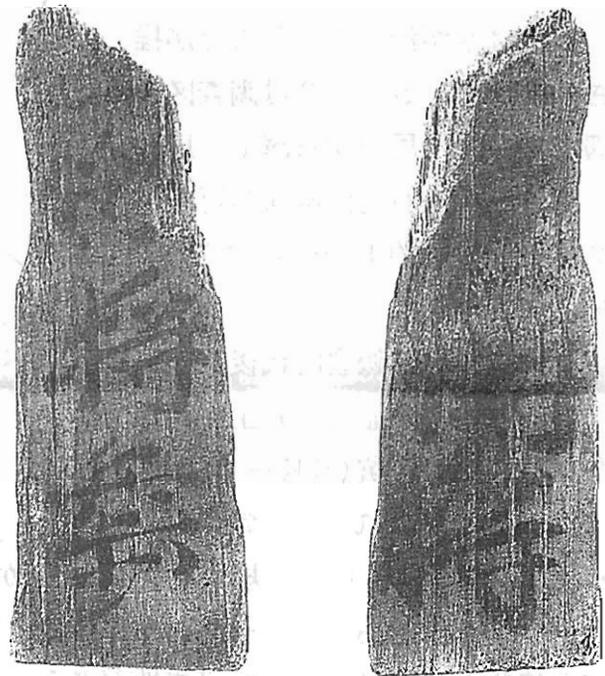
▲ 調査地位置図

### 欲賀南遺跡の整理調査から

欲賀土地区画整理事業関連に伴う発掘調査で出土した大量の遺物は、現在埋蔵文化財センターで整理作業が行なわれています。今回はそのうち鎌倉時代の井戸から出土した木の板について報告します。

出土した木の板は上部が折れていますが、現状で長さ7.2cm、幅2.8cmあり、両面に墨で文字が書かれています。片面には「将将兵歩」とあり、もう片面は「将将将」と書かれています。上の文字は不明瞭です。将は軍を統率・指揮する長、兵歩は歩兵つまり、一般の兵士の意味でしょうか。まじないの木簡か文字の練習用に書いたものの可能性が考え

られますが、現在のところ意味や性格についてはよくわかりません。達筆で書かれた鎌倉時代の文字は何を意味するのでしょうか。今後類例などを調べたうえ、その意味を解明できればと思います。



▲ 墨書された木の板

(小島)

## 新人紹介

### 木下調査員

平成 20 年 4 月 1 日付けで、守山市立埋蔵文化財センターの調査員に採用されました、木下義信と申します。昨年度までは、財団法人滋賀県文化財保護協会の調査員として、特別史跡である彦根城をはじめとして、滋賀県各地の発掘現場での調査をしておりました。守山市内での発掘調査の経験はありませんが、今年度から史跡整備が始まる下之郷遺跡など、全国に誇れる遺跡が数多くあり、そのような魅力にとりつかれて、こちらにお世話になることになりました。守山市ではどんな魅力的な遺跡に出会えるのか楽しみです。皆様も今後の発掘調査の成果に期待していただければと思います。ぜひ、遺跡の現地説明会でお会いいたしましょう。

### 平岡事務員

4 月より、埋文センターでお世話になっております。守山在住 19 年目の平岡直子です。考古学の知識は、学生時代の社会科でならった程度の事しかありませんが、久しぶりに新しい知識を得る新鮮さを感じる毎日です。来館の際には、お気軽にお声をかけて頂きますようよろしくお願い致します。

## 歴史入門講座生募集のお知らせ

1 全体テーマ 『湖と人とのかかわり』

2 講座日程

第 1 回 6 月 21 日 (土) 「琵琶湖湖底遺跡と地震跡」 濱 修さん

第 2 回 7 月 19 日 (土) 「琵琶湖縄文人の漁業と食生活」 瀬口眞司さん

第 3 回 8 月 16 日 (土) 「弥生集落と琵琶湖」 中村健二さん

第 4 回 9 月 20 日 (土) 「湖岸べりの古墳」 岡田雅人さん

第 5 回 10 月 18 日 (土) 「六反田遺跡の調査成果—物流ターミナルの発見—」

堀 真人さん

第 6 回 12 月 20 日 (土) 「発掘された神社—塩津港遺跡—」 横田洋三さん

3 受講料 1,200 円 (6 講座分です。1 講座のみ受講される場合は、事前申込みのうえ、1 回 200 円が必要です。)

4 募集人数 60 人 先着順

5 開催場所 守山市立埋蔵文化財センター 2 階会議室 (第 2 回から 6 回)  
市役所東棟 3 階大会議室 (初回のみ)

6 開講時間 午前 9 時 30 分から正午まで

7 交通機関 JR 守山駅から近江バス (笠原線) 市立埋蔵文化財センター行き終点下車

お申し込み・お問い合わせは守山市立埋蔵文化財センターまで

電話・ファックス 077-585-4397

## 埋蔵文化財センター友の会 会員募集のお知らせ

市立埋蔵文化財センター友の会は、歴史や埋蔵文化財に興味をもつ方々の集まりです。地域の歴史や埋蔵文化財への理解を深めるため、県内外の博物館や遺跡の見学などの活動のほか、関連情報の提供を行っています。歴史や考古学、郷土の文化財に興味のある方はこの機会にぜひご入会下さい。

記

○ 年会費 2,000円

○ 平成19(2007)年度の主な活動内容

第一回見学会(県内) 安土城考古博物館  
野洲市歴史民俗博物館  
大岩山古墳群

第二回見学会(県内) 高月町出土文化財センター  
物部古墳群、松尾宮山古墳群

第三回見学会(県内) 木瓜原遺跡(立命館大学地下)  
石山寺、琵琶湖博物館、  
欲賀南遺跡

第四回見学会(県外) 岐阜県立博物館「発掘された日本列島」  
【岐阜方面】 関鍛冶伝承館、瑞浪市陶磁資料館

第五回見学会(県外) 唐古・鍵遺跡、唐古・鍵考古学ミュージアム  
【奈良方面】 巢山古墳、牧野古墳、ナガレ山古墳

第六回見学会(県内) 堅田湖族の郷資料館、居初邸  
小野篁神社、小野道風神社  
唐臼山古墳(小野妹子神社)



▲ 唐古・鍵遺跡

○ 今年度の主な活動予定

年間6回の見学会を予定(県内4回、県外2回)  
第一回見学会は5月25日(日)に「湖南地方の文化財」として、バスで栗東市出土文化財センター、小槻大社、龍王古墳、日向山古墳、新善光寺などを見学する予定です。

○ その他特典 各種催物の案内、埋蔵文化財センター機関紙「乙貞」の送付

お申し込み、お問い合わせは守山市埋蔵文化財センターまで

電話・ファックス 077-585-4397